

警視庁と(ISC)²、サイバーセキュリティ人材育成に関する パートナーシップ契約を締結

2020年1月23日、フロリダ州クリアウォーターの(ISC)²本部にて、(ISC)²と警視庁による覚書への署名式が行われました。覚書はサイバーセキュリティ人材育成におけるパートナーシップに関するもので、警視庁及びその他法執行機関に対する公式 CBK® (Common Body of Knowledge) トレーニングの提供を含みます。

世界的なサイバー犯罪による被害が拡大するなか、犯罪を取り締まる機関は従来の戦術に加え、サイバーセキュリティに関するスキルを高めることが急務となっています。今回のパートナーシップの締結は、関係者に CISSP の取得を奨励することにより警視庁がサイバー犯罪の理解・捜査・訴追に必要なスキルを身につけることを目的とします。

(ISC)² chief operating officer の Wesley Simpson は、この覚書の締結を紹介するビデオのなかで、「法執行機関と政府機関のデジタル環境における安全性を確保するためにサイバーセキュリティスキルを高めることは重要です。警視庁は日本国内においてこの取り組みを続けてこられました。一流の法執行機関である警視庁に CISSP を選択いただいたことは、(ISC)²の認定資格が業界に信頼されており、価値ある資格であることの証明でもあります。」と述べています。

警視庁サイバーセキュリティ対策本部の松下徳弥副本部長は、「(ISC)²の認定資格は、サイバーセキュリティ専門家としての習熟度と卓越性における基準となります。このパートナーシップの締結によって、サイバーセキュリティにおける国際的に高品質なトレーニングを受けることが可能となりました。都民・国民の安全を、より確かに守ってまいる所存です」と語っています。

CISSP 認定資格の詳細については、https://japan.isc2.org/cissp_about.html にアクセスするか、infoisc2-j@isc2.org にお問い合わせください。警視庁と(ISC)²の覚書の署名式に関するビデオは、https://youtu.be/FdD4Dhxa_vo からご覧ください。

(ISC)² ® について (ISC)² (International Information Systems Security Certification Consortium : アイエスシー・スクエア) は、安全で安心できるサイバーセキュリティの世界を実現することを目的とした国際的な非営利団体です。高い評価を得ている CISSP® (Certified Information Systems Security Professional) を始めとした各種資格を提供することにより、セキュリティに対して(ISC)²は網羅的、そして計画的にアプローチしています。サイバー・情報・ソフトウェア・インフラストラクチャセキュリティの専門家から成り立つ 14 万人を超える資格保持者は、差別化を図るとともに、業界の発展に貢献しています。私たちのビジョンは、慈善団体である [The](#)

[Center for Cyber Safety and Education™](#)の、社会に教育を提供するというコミットメントによってもサポートされています。(ISC)² についての詳細は、<https://www.isc2.org>、<https://japan.isc2.org> (日本語)、[Twitter](#)、[Facebook](#) をご覧ください。

© 2020 (ISC)², Inc., (ISC)², CISSP, SSCP, CCSP, CAP, CSSLP, HCISPP, CISSP-ISSAP, CISSP-ISSEP, CISSP-ISSMP, CBK は(ISC)², Inc.の登録商標です。

メディアお問い合わせ先：

Brian Alberti

Corporate Public Relations Manager

(ISC)²

balberti@isc2.org

(617) 510-1540